

浅口市立鴨方東学校 令和8年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和8年10月9日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科:問題文を読み、その文章の種類や特徴について理解することができている。 ○算数科:「データの活用」の正答率が県、全国と比較して高い。特に二つの表から、集計結果の誤りを見つけて、その根拠を表の中の数値や言葉を用いて記述する問題の正答率が高い。 ○無回答率が低い。 <課題> ▲国語科:条件に合わせて自分の考えを書くことに課題がある。 ▲算数科:割合や単位量当たりを使った問題に課題がある。	<成果> ○授業でICT 機器を「ほぼ毎日」活用していると回答した児童の割合が82%と県、全国平均より高い。 ○課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると肯定的に回答している割合(82%)が県、全国平均より高い。 ○自分と違う意見について考えるのは楽しいと肯定的に回答している割合(80%)が県、全国平均より高い。 <課題> ▲自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると肯定的に回答した児童の割合(62%)が県、全国平均より低い。



改 善 策
学 校 で の 取 組
① 学習規律の確立 ・机上の整理 ・学習姿勢 ・話の聞き方、話し方 ・学習用具 ・教室環境の整頓など ② 「学び合う仲間集団」の育成 ・「QNKS 図考法」に取り組むことで、思考力・判断力・表現力等を高めることができるようにする。 ・「学び合い」を通して考えが深まるように、教師の発問や話し合い(ペア、グループ、学級全体)を意図的に仕組んでいく。 ③ 基礎学力の向上 ・朝の学習やモジュールタイムで、小テストやキュービナ等の学習アプリを活用した漢字や計算などの反復練習の機会を確保することで、基礎基本の定着を図る。 ・家庭学習を中心に、「けてぶれ学習法」を指導することで、自分の学びを計画し、結果を振り返り、次の学習を自分で決める自己調整学習のサイクルが回せるようにする。
あい・かもがた学園 での取組
○カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図り、自立した学習者を育成する。 ○「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。 ○各校の授業参観や研修、情報交換の機会を設け、対話を通して考えを深めることや、振り返りを次の学びにつなげることについて、校種を超えて共通理解を図る。
家庭・地域へのお願い
○学校では朝の学習や家庭学習を通して基礎学力の向上を目指しております。家庭での学習の様子を見ていただき、自ら学習に向き合う姿への温かい励ましの声掛けをお願いします。 ○家庭でのメディア使用について話し合い、メディアとよりよく付き合っていくことができるようになるためのルール作りをお願いします。 ○学習や生活等、様々な場面で子どもたちのよさや頑張りを認めて誉めて励ます声掛けをお願いします。日々の様子で気付かれたことがあれば、ぜひ学校までお知らせください。